**第１０回登別市市民自治推進委員会　ぬくもり部会議事録**

（敬称略）

◆ 開催日時：平成２９年６月３０日（金）　１８時３０分～

◆ 開催場所：登別市役所２階　第１委員会室

◆ 出席部会員：部会長　 雨洗　康江

副部会長　田渕　純勝

　　　　 　　部会員　 今 　順子

　　　　　　　　　　　　 鎌田　和子

　　　　　　　　　　　　梅田　秀人（協働推進庁内委員会部会長）

 【保健福祉部次長】

平田　雅樹（協働推進庁内委員会副部会長）

【保健福祉部子育てグループ総括主幹】

◆ 欠席部会員：部会員　　岩浅　眞純

　　　　　　　　　　　　 千葉　円哉

◆ 事　務　局：　　　　　笠井　康之【市民生活部市民協働グループ総括主幹】

早坂　晃正【市民生活部市民協働グループ主任】

◆ 議　　　題：第４回部会長・副部会長会議の報告及び特定健診の受診率向上のための取り組みについて

≪事務局≫

　６月１５日に開催されました第４回部会長・副部会長会議の概要を説明した後、部会長に引き継ぎたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

部会長・副部会長会議で情報提供した資料を配付しております。

　会議に出席されていた各部会の部会長、副部会長からそれぞれの部会の取組について説明がありました。

ぬくもり部会では、「特定健診に関するアンケート」の結果について資料２の説明をしていただき、今後、更なる受診率の向上に向け、どのような取り組みができるか、協議していくこととして説明していただきました。

　防災・環境部会では、防災訓練による市民の防災意識向上ということで、各地区連で行う防災訓練の参加人数、場所、各地区連でデータを共有することにより、他の地区連の良い点を取り入れていくということと、社会教育グループのウォーキングマップがリニューアルされた後、防災・環境部会の委員で実際にコースを歩いて、避難場所を確認し、その後、各地区連に避難場所のウォーキングの実施を依頼することで、近隣の町内会の避難場所の周知徹底も併せて行います。

　産業躍動部会では、健康推進グループの事業である「食育おやこ料理教室」を実施することとしており、７月２７日及び２８日に登別漁港で水揚げされる水産物を使用し、１月１２日及び１３日に登別牛などを使用した料理教室を開催します。

　また、商工労政グループの事業である「婦人センター講座」では、登別漁港産の秋サケや登別牛、のぼりべつ牛乳を使用したレシピをそれぞれ考案した中で料理教室を実施することとしており、１１月中の開催を目指して協議しているところです。

都市調和部会は、資料に記載のとおり、きらり健康ふれあいウォーキングマップのリニューアルと千代の台団地の建て替えについて話がありました。

育み部会では、利用されていない公園の利活用について、公園の利用実態調査結果に基づき、あまり利用されていない公園について、利用される公園にするためにできる取り組みについて話し合っており、次回の部会では若草町にある「のびのび公園」の利活用について考えることとなっています。

まちづくり部会では、部会員に講師を依頼し、ロコモティブシンドロームの予防に関する座談会を３箇所で、今月の１７日、１８日、２５日に開催しました。続編の座談会を７月２３日と８月２０日に市民プールらくあで開催する予定です。

座談会は、それぞれ２０名程度の参加があり、大変好評でした。

各部会の取り組みについては以上になります。

その他、受動喫煙の防止等についてですが、北海道の条例案や条例制定に向けた動きをはじめ、道内の市庁舎における分煙状況、国の法改正に係る報道、また、道医師会が行う署名まで、新たな情報がありますので、皆様には資料３－１から３－６までの新聞記事を６枚お配りしております。

　次に、資料４は、先日終了した健康座談会の案内文と続編の案内文で参考までに添付しております。

　これまでの部会長・副部会長会議でも話がありましたが、委員長、副委員長からは、市民自治推進委員会の取り組みを市民に知ってもらうため、年に１度くらいは広報紙で周知した方が良いのでは、という話がありましたので、市としましても現在、特集記事の掲載に向け、作業を進めているところでありますが、構成次第では各部会長等にお話しを伺うなど、ご協力を仰ぐこともあるかと思いますので、お願いしますと話しております。

　封筒の資料ですが、５月１９日の市連町定期総会で情報提供しているものです。

　資料の配付のみで、説明はしていませんが、その時点で市民の皆さんに情報提供したい案件を各グループから集めて提供したものなので、こちらにつきましては、時間のある時に見ていただいて、部会などでも役立てて頂ければと思います。

　また、部会長・副部会長会議では、封筒の中にある、廃棄物処理施設の市の方針案の概略を説明しました。

今年の２月１３日に西胆振広域連合で運営している「メルトタワー２１」、これは室蘭市、伊達市、壮瞥町、洞爺湖町、豊浦町の２市３町で運営しているものですが、平成３６年度までの稼働とし、平成３７年度の供用開始を目指して、新たな施設を建て替えることに決定されました。

これにあわせて、広域連合から、登別市と白老町も一緒に広域処理をしないかという打診がありました。

登別市としては、人口やごみ処理量が減少する中にあって、将来のことも踏まえて広域処理を検討する必要があるものと考え、これまで広域に参加するのか、それともこのまま１市１町でクリンクルセンターを継続するのか、財政的負担や市民生活への影響等、市民などからの意見も聞きつつ、色々と検討してきました。

その結果としては、財政負担として、平成２９年度から平成６１年度までの３３年間で約１３億円、年間約３，８００万円の削減効果が図られるものとなりました。

単純に財政的負担だけを考えるのであれば、広域行政の方に参加する形になるのかと思いますが、距離延長に伴う市民生活の利便性の低下や、これまで施設の余熱を活用してきた市民ギャラリー及び研修室の使用ができなくなること、クリンクルセンターで働いている方々の雇用の喪失や転出等に伴う市内経済への影響が大きいものになります。

クリンクルセンターで働いている方は５～６０名おり、そのうち３５名の方が市内に居住しています。ここが無くなると、従業員の殆どが転勤することになってしまいます。

そうした方々のことを考えると、約６千万円以上登別市の消費が無くなってしまうことになります。

それよりも一番は５５名いる企業、一つの企業ではありませんが、自治体では企業誘致など図っている部分があります。これが無くなるという事は結果として人口減少にも拍車をかけるということにもなってしまいます。

それと市としては、一時的に大きな一般財源が必要となり、資料の５ページになりますが、それぞれ年度毎の一般財源の負担額というものを試算しており、平成３７年度から広域の運営が始まりますが、その前は、今クリンクルセンターを動かしているのと同時に、建設費が重複してきます。

この重複してくる部分で、平成３６年に一気に９億円掛かるということで、今の市の財政で出来るのかと言われたら、難しいのではとういことでした。

市が単独で行うとすれば、ある程度平準化を図るような施策を考えていきますが、広域なので、他の市町に合わせなくてはならないという部分があり、避けられない部分かと思いますので、財政運営の部分では厳しいと思われます。

それと、市民説明会では殆どの方が広域への参加に反対であったことなど、総合的に検討したところ、現時点では、１市１町によるクリンクルセンターを継続する方針（案）としました。

これについては、先日新聞に掲載され資料の最後に添付しています。

部会長・副部会長会議の概要は以上になりますが、補足等があればよろしくお願いします。

　≪副部会長≫

　事務局から、先日行われた部会長・副部会長会議及び各部会からの報告内容と町内会・町会・自治会長会議で市から情報提供のあった事項について報告していただきました。

　部会長が出張により欠席されたため、私だけ出席しました。今、事務局から報告のありましたとおりですが、意見交換があった中で、市民自治推進委員会のメンバーは、各団体等の代表として来られている方々であり、健康診断を受けていない方が３７％もいるということは、市民全体で考えると、それが拡大するのは当たり前であり、ここにも問題があるという話や配偶者は受けているのかという話がありました。

また、かかりつけの個人病院等で、健診の受診について声かけをされたことがないという話もありました。通院している方が５６％もいる中で、このような声かけが病院の先生などからあるだけでも、特定健診の受診率向上のために非常に効果のあることではないかという話もありました。

当部会に関係する部分としては以上になります。

その他につきましては、事務局から報告のあったとおりですので省略します。

事務局から補足説明等はありますか。

≪部会員≫

　一つ質問ですが、先日事業所で健康診断がありまして特定健診の受診票はありますかと言われて提出したのですが、何かメリットはあるのですか。

≪事務局≫

　通常の健診の項目に特定健診分の項目が追加されその分は市が負担する形になっていると思います。

≪部会員≫

　そういったメリットがあるのであれば、病院側で特定健診についてのメリットの説明をしてもらえたら有効だと思いました。

≪副部会長≫

　病院側からの特定健診の受診についての声かけという話はありましたが、ほかに特定健診の受診率向上のためのアイディアは何かありますか。

　ほかには、保健指導があまり受けられていないという話もありました。これは強制ではないのですが、注意が必要な方でも受けていない方が多いという問題もありました。これも重要なことであると思います。

≪部会員≫

　所見については通知がありましたね。

≪事務局≫

　数値が悪い人には通知は出ています。

≪副部会長≫

　啓発をする場合でも、うるさいと思うぐらいの啓発をしなくてはならないのではと思いますが、現在は町内会の回覧を利用しているところですが、見ていない人はいるかと思いますので、市民全体に周知となると難しい状況です。

≪部会員≫

　イベントの時にのぼりなどを立て、血圧だけ測るということを実施し、そこから特定健診の受診を促すということも一つの方法だと思います。

≪庁内委員≫

　市でも、現在、国民健康保険と後期高齢でとタイアップし医療費の削減と特定健診の推進ということで各団体が希望された場合に出向き、講座をさせていただいておりますが、件数は少ない状況です。

≪部会員≫

　例えば、イベントの時に検診車に来てもらうといったことはできないのでしょうか。

≪庁内委員≫

　検診車は無理です。

≪部会員≫

　検診車以外でも、健康診断を行ってもらえるということはないのですか。

≪庁内委員≫

　保健師の都合が合えば、血圧を測るということは可能かもしれません。

≪部会員≫

　血圧だけであれば、事業所でも計測はできますね。

≪庁内委員≫

　簡易的なことだけで、特定健診の受診まで繋げることができるのか難しいかと感じます。

≪副部会長≫

　公共施設等では血圧計は設置されていますね。

　血圧計を個人で持っている方も多いとは思いますが、持っていない方は公共施設等に設置されている血圧計を使用されますね。

　例えば、市の玄関に設置されている血圧計は一日にどれぐらいの人が計測しているのかを調査することで何か発見はあるかもしれません。

≪部会長≫

　町内会で特定健診についての話はしたことがなかったと思います。回覧はありしましたが、特別な取り組みということはありませんでした。

≪副部会長≫

　私の町内会では、特定健診を受診しましたかという話はしたことがありました。

　頼みの綱として、やはり地域となるのでしょうが、それ以外で何かのついで的な取り組みで広めてもらう必要もあると思います。

≪事務局≫

　口コミで仲間を連れて行ってもらうことは望ましいですね。

≪庁内委員≫

　医師や病院側から健診の声掛けをしてもらうというのは、今までなかった発想ですね。今までどう広報するのかを考えていました。定期的に病院に通っている方であればついでで済むので負担は少ないと思います。

≪副部会長≫

　実施できれば効果はあると思います。

　行政と医療機関との連携の中で、特定健診の扱いなどについてどのように対応されているのか確認をお願いします。

≪部会員≫

　病院に特定健診のチラシを張ってもらうだけでも効果があるかもしれませんね。

≪庁内委員≫

　病院との連携について確認いたします。

≪事務局≫

　病院からの周知以外で、各団体等で実施できることがあれば良いと思うのですが、いかがでしょうか。

≪副部会長≫

　市民活動センターを利用している方にも、おにスポさんを通して周知できないでしょうか。

　血圧計も設置されていたと思いますので、血圧を計ることから特定健診に繋げることができるのではないかと思います。

≪事務局≫

　連合町内会の女性役員会はかなりの人数が集まりますよね。そこで特定健診の話ができると良いですね。

≪副部会長≫

　１５分でも話を聞いてもらえるだけでも違うかもしれませんね。

≪部会員≫

　毎年、健康教室があるのですが、５０名くらいの参加があります。その中で特定健診の実施の有無について確認したことはありませんでした。

≪事務局≫

　５０人規模であれば、そういったところで特定健診の話ができると良いですね。

≪副部会長≫

　是非、情報をいただきたいと思います。

　ターゲットを絞って取り組んで行けると良いですね。

≪事務局≫

　健康教室は、いつ頃実施かわかりますか。

　また、主催はどこの団体ですか。

≪部会員≫

　健康教室は、９月２６日１０時３０分からです。

　主催は、食生活改善推進員協議会で、食事を作ってもらい講話もしています。

≪部会員≫

　登別婦人会でも健康についての話がでますが、人数が少ないので、連町などと一緒に取り組んだ方が良いのではという話がありました。

≪副部会長≫

　人数はあまり気にしないで良いと思います。

≪部会員≫

　来年の総会で取り組みできないか確認してみます。

≪副部会長≫

　本日は、色々とアイディアを皆さんに出していただきたしたが、その中で、少しでも特定健診の受診率向上に繋げることができる取り組みになればと思います。

≪庁内委員≫

　次回の部会で市が行っている、医療費削減のための出前講座を実施するのはどうでしょうか。

≪副部会長≫

　実際にどのような内容で実施しているのかを知ることができるのでお願いします。

　次回は、市で取り組む出前講座と現時点での実施状況の報告をお願いします。

　それでは、本日もお疲れ様でした。

**【次回以降について】**

・国民健康保険グループが実施している医療費抑制に係る説明会の開催

・次回開催　９月２１日（木）１８時３０分